

## 海外派遣研究者（学長裁量経費）報告書

### 鹿屋体育大学・上海体育学院 スポーツ文化交流について

西 園 秀 嗣

（スポーツトレーニング教育研究センター）

田 畑 泉

（スポーツ科学講座）

本学と大学間交流協定を結ぶ中華人民共和国・上海体育学院の正規短期留学生在が上海体育学院，外事弁公室と連携し，両大学間の学生を中心としたスポーツ文化交流事業を実施した。期日は平成13年11月25日から30日までであり，西園と田畑教授が同行し，上海体育学院の研究施設や運動施設を見学した。上海体育学院は1952年に創設された国立4年制体育大学であり，競技スポーツ，生涯スポーツ，中国の伝統武術について教育研究を進めている。今回，7学部（陸上競技，体操，球技，武術，スポーツ報道，体育康復，スポーツ経営）について研究や運動施設を中心に視察することができた。特別講義・実習では，「推摩・按摩」について解剖学教室（講師 猿 志武助教授）で推摩・按摩の違い，歴史などについて講義があり，マッサージの手法について実習した。特別講義・実習「気功」について武術館で（講師 陳 新富助教授）気功の歴史について学び，実際に指導を受けた。気功により手掌に熱を感じた学生もいた。さらに12の型について学習することができた。武術の演技「武術・太極拳」が武術館であり，上海体育学院武術系学生による武術・太極拳の成果を披露された。実演後は大きな拍手が沸き，盛り上がった演武会であった。上海体育学院リハビリテーション系の学生との討論会では，両大学の学生の就学上での問題や将来の進路について主に英語で会話していた。特に上海の学生の積極性に日本人は驚いていた。「テニス」授業へ出席し，基礎練習後，シングルス試合が行われた。競技レベルは高く，本学の現役選手が負けることも多かった。「武術」授業へ出席し，剣を使った授業へ2人が参加し，武術系の学生の中で苦労していた。「サッ

カー」授業へも出席でき，基礎トレーニングを中心にハードな内容であった。持参したサッカーボールを寄付し，担当の教授に感謝された。また，サッカー親善試合があり，25分ハーフでサッカー運動場にてリハビリテーション系の学生との間で行われた。親善試合とはいえ勝利を追求する厳しいゲームであったが，4対1で鹿屋体育大学が勝利した。最後に学院長との協議が実現し，今回のスポーツ文化交流の取り組みに感謝の意を表され，今後の上海体育学院からの訪問について検討中であると話された。今後とも両大学間の共同研究の推進とともに学生の交換留学の促進について合意することができた。今後，両大学の交流の質を高め活性化を計るため，学生間の交流を促進し，上海側の交流計画や留学生派遣希望，本学留学生の就学状況，帰国後のフォローアップに関して調査・検討を進めることが重要であると考えられる。